



がんの罹患および死亡率がもっとも低い世代

全がん患者数に対する
AYA世代のがん罹患患者は

3.7% = 健康な世代

妊孕性喪失のリスク

化学療法や放射線治療により、
妊孕性が失われる可能性がある



精子・卵子の凍結保存

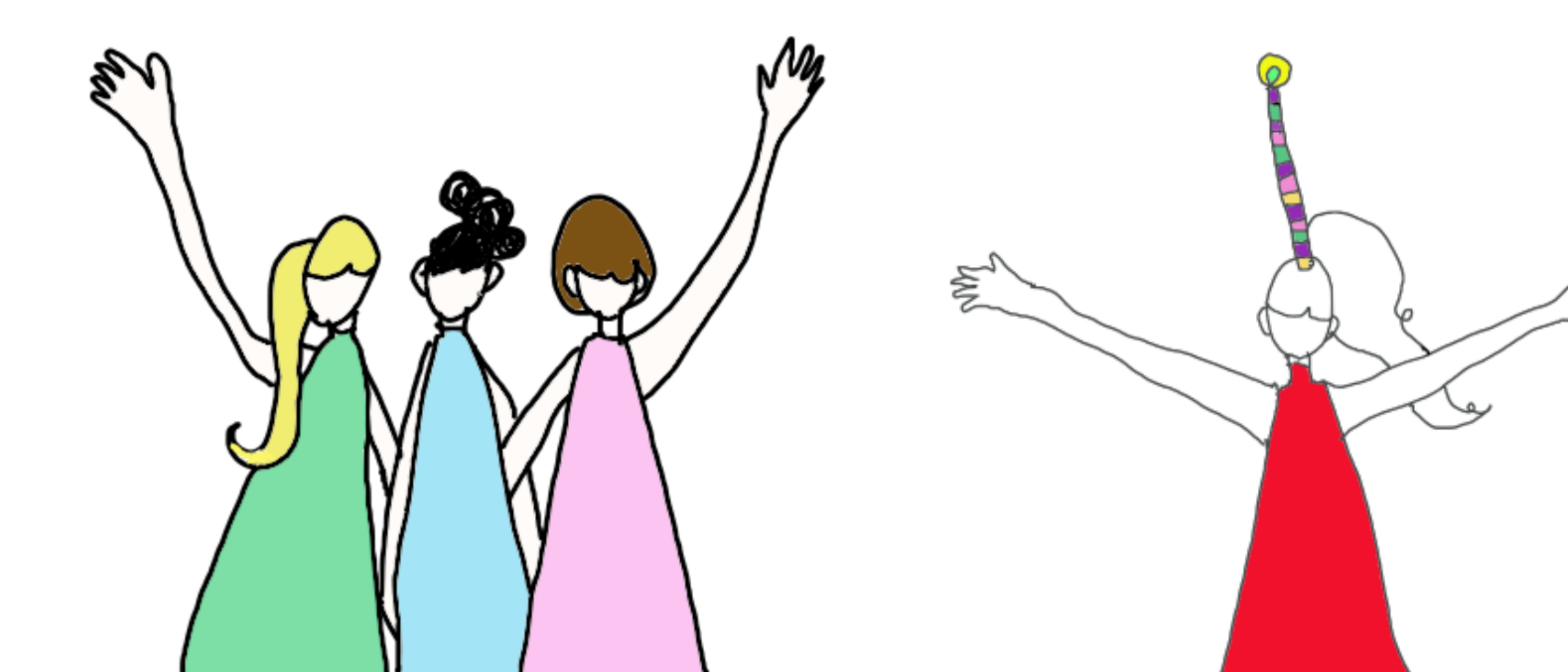
が！

その後の情報がほとんどない

がん治療後の妊孕性回復治療は手探り状態

健康な同世代との交流

長期入院により社会生活からの離脱を余儀なくされても、
健康な同世代との交流することで
社会性を喪失していないことを自覚できる



AYAshipの普段の活動

まちなかキャンパス
での学芸会紙芝居
の様子



季節ごとの工作物をつくり、
病棟の子たちに渡しています。

もし

突然、宇宙船にさらわれた！

そのときあなたは どうする？

治療による自己像の変化

疾患による
容姿の変化
能力の変化
機能の変化



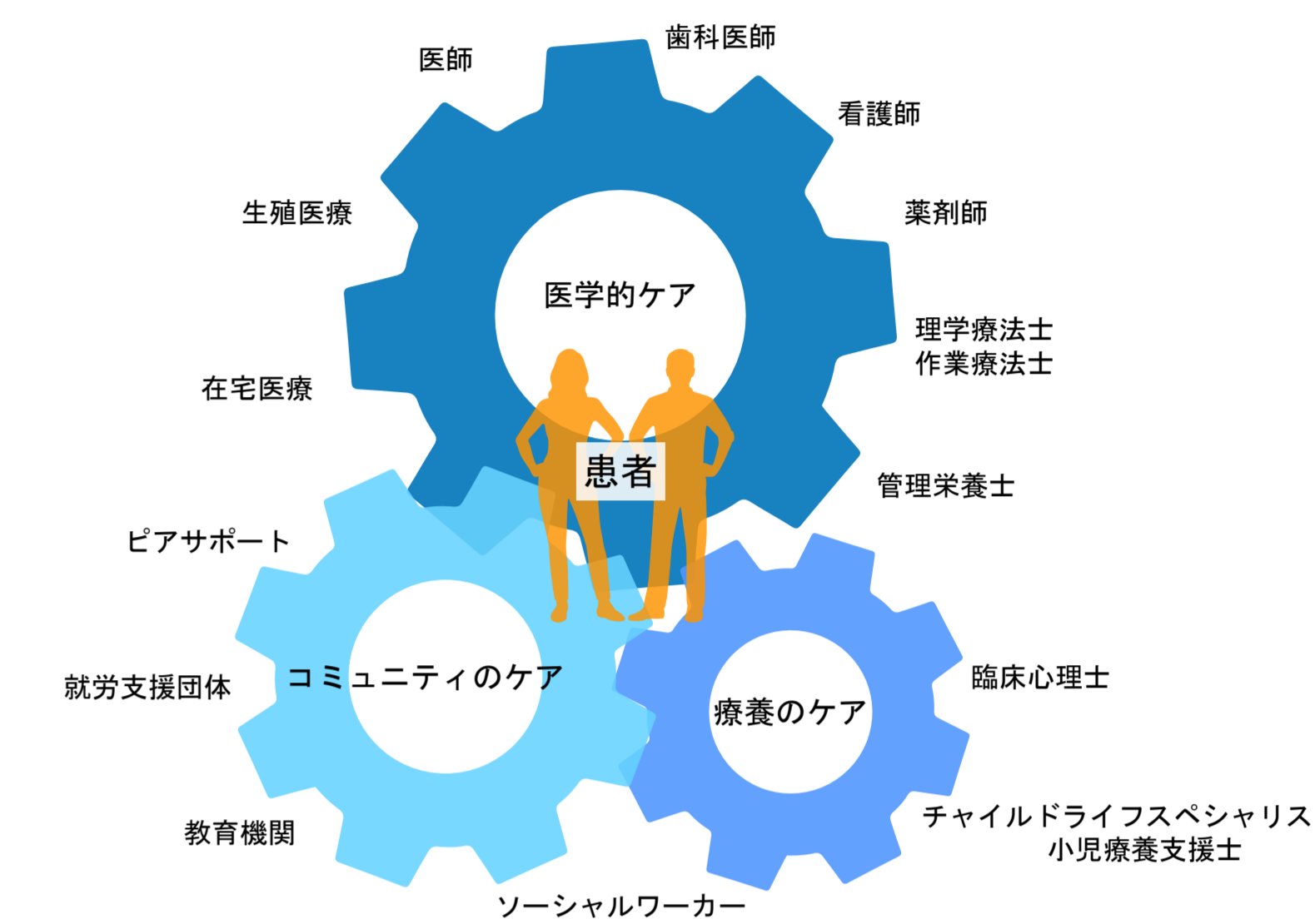
恋愛に消極的になる



就学・就職に自信をなくす

新たな価値観のもと新しい自己像を受け入れ、
自我統一性の獲得を目指す必要性

他職種連携によるサポート



AYA世代の病気の多くは
生活習慣病などとの関連が少ない
前触れもなく突然やって来る

AYA世代

Adolescents and Young Adults
思春期・若年成人

future

将来への夢や希望が突然断たれる

新たなライフプランを受け入れる

そのためのサポートは？

future

長期フォローアップ

情報への アクセシビリティの向上

AYA世代はインターネットによる情報取捨に長けた世代



インターネット上で多様な問題点に対する正しい情報を
容易に検索できるシステムの構築が必要

AYA世代のがん治療には
多様な医療的、心理社会的ニーズがある

平成30年3月に策定された厚生労働省による
「第3期がん対策推進計画」において特に注力すべき領域とされた

AYA世代の定義

地域や施設によってさまざま

15歳～30歳前後

もしくは

15歳～39歳

15～19歳：A世代
20歳以降：YA世代

最近の日本

39歳までは介護保険が
受けられないため

長期入院による社会生活からの離脱

精神的発達

不安定

社会的発達

生物学的成長

ピアサポート

同じ経験をしている同世代と交流することで
健康な友人や家族、医療者には話づらい悩みを共有できる

